

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス本部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,325	△6.9	5	△93.1	△33	—	△27	—
24年3月期第1四半期	1,423	△14.6	84	△72.6	68	△75.0	67	△71.4

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 △36百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 70百万円 (△69.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.74	—
24年3月期第1四半期	4.26	4.25

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第1四半期	7,203		1,310		17.2	
24年3月期	6,901		1,343		18.5	

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 1,240百万円 24年3月期 1,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,726	△6.6	88	△44.8	73	△49.1	64	△86.5	4.01
通期	6,057	8.2	411	413.6	408	645.0	374	△3.0	23.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	15,950,540 株	24年3月期	15,950,540 株
25年3月期1Q	416 株	24年3月期	416 株
25年3月期1Q	15,950,124 株	24年3月期1Q	15,941,380 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかな回復を続けており、個人消費も緩やかな増加を見せておりますが、雇用情勢は、依然として厳しさが続いております。先行きについても、欧州政府債務危機を巡る不確実性が高いなかで、世界景気に減速感が広がっていることなどから、景気の下振りが懸念されます。アメリカ経済は、景気が緩やかに回復していますが、雇用環境の改善の遅れや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがあります。ヨーロッパ経済は、景気が足踏み状態にあります。一部の国々の財政の先行きに対する根強い不安が金融面に影響することにより景気低迷の恐れがあります。中国経済は、消費が堅調に増加しておりますが、景気の拡大テンポは鈍化を見せております。

その中で、データプロジェクターは、新興国を中心として教育用途での普及、拡大が続いており、ビジネス用途でもエントリーモデルの需要が伸びております。当社グループのプロジェクター用反射鏡の販売は、数量ベースでは、増加傾向を続けておりますが、データプロジェクターの需要増加が低価格品中心であることを背景に、反射鏡の平均販売価格は緩やかに下落しております。デジタルシネマ上映システムは、先進国での導入がピークを迎え、今後は、新興国での需要が中心になっていくと思われま。こうした状況の下で、当社グループのデジタルシネマ用映写機の反射鏡の製造と販売は減少いたしました。

平成24年5月に岡本硝子株式会社本社工場のガラス溶融炉1基の定期炉修が完了いたしました。当社グループは、コストダウンを目的として、平成25年1月から新潟岡本硝子株式会社で耐熱ガラス製品の反射鏡の一貫生産を計画しておりますが、結晶化ガラス製品につきましては今般炉修を終えた本社工場のガラス溶融炉にて成型し、新潟岡本硝子株式会社にて研磨以降の加工を行う予定であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,325百万円(前第1四半期連結累計期間比6.9%減)、経常損失33百万円(前第1四半期連結累計期間の経常利益は68百万円)、四半期純損失27百万円(前第1四半期連結累計期間の四半期純利益は67百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は187百万円と前年同期と比べ10百万円(5.1%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は14百万円と前年と比べ7百万円(34.9%)の減益となりました。自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズは、ガラス製品への需要の漸減傾向が続いており、販売数量が前年同期比で16.1%減少し、売上高は15.4%減少しました。

②光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は917百万円と前年同期と比べ50百万円(5.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は122百万円と前年と比べ56百万円(31.8%)の減益となりました。プロジェクター用反射鏡は、教育用途を中心としたデータプロジェクターの需要が堅調であることから、販売数量が前年同期比で8.9%増加し、売上高は6.0%減少しました。フライアイレンズにつきましては、前年同期は震災によりガラス溶融炉1基が破損したことで生産が減少しましたが、当四半期は再建したガラス溶融炉が順調に稼働しているため、販売数量が前年同期比で85.4%増加し、売上高は63.0%増加しました。デジタルシネマ用映写機の反射鏡の販売は、先進国でデジタルシネマ上映システムの導入がピークを過ぎたことにより減少いたしました。

③機能性ガラス・薄膜事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は20百万円と前年同期と比べ15百万円(42.6%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は39百万円と前年と比べ7百万円の減益となりました(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は31百万円)。太陽光発電関連のガラス製品等の販売が減少しました。

④その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は199百万円と前年同期と比べ21百万円(9.7%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は12百万円と前年と比べ28百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント利益は16百万円)の減益となりました。紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工の受注が減少しましたが、紫外線波長域の反射鏡の販売は増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて301百万円増加し、7,203百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ199百万円の増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が299百万円増加したこと並びに現金及び預金が102百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ101百万円の増加となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ301百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ167百万円の増加となりました。この主な要因は、未払金が42百万円増加、短期借入金が38百万円増加及びリース債務が38百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ166百万円の増加となりました。この主な要因は、リース債務が184百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は334百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が27百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益は2,856千円増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,531	510,492
受取手形及び売掛金	934,837	1,234,596
商品及び製品	421,054	427,853
仕掛品	288,331	293,512
原材料及び貯蔵品	66,332	61,126
その他	182,626	178,139
貸倒引当金	△4,784	△4,941
流動資産合計	2,500,930	2,700,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,509,504	1,482,711
機械装置及び運搬具(純額)	1,290,942	1,285,095
土地	708,614	708,614
リース資産(純額)	114,878	317,655
その他(純額)	573,186	511,806
有形固定資産合計	4,197,125	4,305,882
無形固定資産	6,992	6,421
投資その他の資産		
投資有価証券	95,472	93,455
その他	101,225	96,911
投資その他の資産合計	196,697	190,367
固定資産合計	4,400,815	4,502,671
資産合計	6,901,746	7,203,451
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	404,474	399,157
短期借入金	120,000	158,500
1年内返済予定の長期借入金	400,447	423,733
リース債務	46,354	84,740
未払法人税等	4,991	2,835
賞与引当金	44,116	44,116
未払金	269,009	311,527
その他	135,763	168,375
流動負債合計	1,425,158	1,592,985
固定負債		
長期借入金	3,718,364	3,696,065
リース債務	148,295	332,295
退職給付引当金	228,122	232,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産除去債務	28,790	29,764
繰延税金負債	9,260	8,843
固定負債合計	4,132,834	4,299,752
負債合計	5,557,992	5,892,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,762,390	1,762,390
資本剰余金	1,361	1,361
利益剰余金	△476,307	△504,013
自己株式	△369	△369
株主資本合計	1,287,075	1,259,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,785	△4,649
為替換算調整勘定	△9,994	△13,971
その他の包括利益累計額合計	△11,779	△18,621
新株予約権	25,096	28,959
少数株主持分	43,360	41,005
純資産合計	1,343,753	1,310,713
負債純資産合計	6,901,746	7,203,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,423,714	1,325,969
売上原価	1,074,440	1,075,655
売上総利益	349,273	250,314
販売費及び一般管理費		
役員報酬	19,271	18,171
給料及び手当	64,450	62,141
退職給付費用	1,981	2,210
減価償却費	8,960	7,690
旅費及び交通費	9,221	10,320
支払手数料	23,395	18,759
運賃	15,573	19,590
賞与引当金繰入額	13,572	—
研究開発費	32,115	30,404
その他	76,212	75,167
販売費及び一般管理費合計	264,754	244,456
営業利益	84,519	5,858
営業外収益		
受取利息	77	184
受取配当金	4,026	3,026
負ののれん償却額	7,775	—
助成金収入	3,320	145
受取事務手数料	436	6,484
その他	3,493	4,245
営業外収益合計	19,130	14,087
営業外費用		
支払利息	23,900	19,391
為替差損	10,257	16,963
シンジケートローン手数料	—	15,203
その他	1,020	2,380
営業外費用合計	35,178	53,939
経常利益又は経常損失(△)	68,471	△33,993
特別利益		
新株予約権戻入益	4,393	278
ゴルフ会員権償還益	—	8,550
その他	13	—
特別利益合計	4,407	8,828
特別損失		
固定資産除却損	528	244
投資有価証券評価損	31	—
特別損失合計	559	244

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	72,319	△25,409
法人税、住民税及び事業税	3,223	2,341
法人税等調整額	382	247
法人税等合計	3,606	2,589
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	68,712	△27,998
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	839	△292
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	67,872	△27,706

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	68,712	△27,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,635	△2,864
為替換算調整勘定	△240	△6,040
その他の包括利益合計	1,394	△8,904
四半期包括利益	70,107	△36,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,433	△34,548
少数株主に係る四半期包括利益	673	△2,355

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	197,977	967,976	36,224	1,202,178	221,536	1,423,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	197,977	967,976	36,224	1,202,178	221,536	1,423,714
セグメント利益又は損失(△)	22,626	179,078	△31,632	170,073	16,467	186,540

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	170,073
「その他」の区分の利益	16,467
全社費用(注)	△102,020
四半期連結損益計算書の営業利益	84,519

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	187,966	917,238	20,810	1,126,014	199,955	1,325,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	187,966	917,238	20,810	1,126,014	199,955	1,325,969
セグメント利益又は損失(△)	14,740	122,100	△39,379	97,462	△12,162	85,300

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	97,462
「その他」の区分の利益	△12,162
全社費用(注)	△79,442
四半期連結損益計算書の営業利益	5,858

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「照明事業」のセグメント利益が1千円増加し、「光学事業」のセグメント利益が2,846千円増加し、「その他」のセグメント損失が3千円減少しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が4千円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。